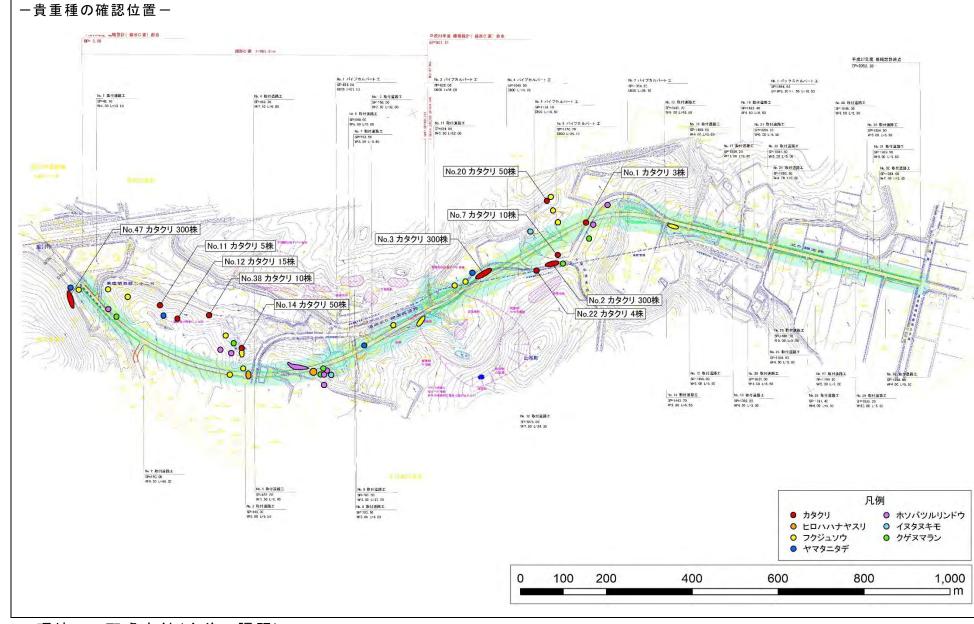
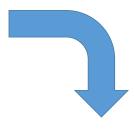


鷹栖東鷹栖比布線 環境調査資料

3. 貴重植物への工事影響





最新の計画路線から左右 20m ずつバッファーを考慮 暫定的に影響範囲を想定



貴重種 7 種が施工範囲内に生育

1. カタクリ

5. ホソバツルリンドウ

2. ヒロハハナヤスリ

6. イヌタヌキモ

3. フクジュソウ

7. クゲヌマラン

4. ヤマタニタデ



移植による保全対策を検討



今回のカタクリ調査が5月下旬以降であったため、 花期の調査を行い、カタクリの生育範囲を確定す る必要がある。

※カタクリの花期4下旬~5上旬

4. 環境への配慮方針(今後の課題)

- ・カタクリを含む 7 種の貴重種が工事の影響を受けると予測 →移植による保全を検討
- ・花期の調査でカタクリの生育範囲を確定(課題①) →影響範囲の確定
- ・設計の熟度を上げる(課題②)

→事業計画に合せた移植先・方法の検討

・保全対策後に工事に着手

→環境への影響を低減



詳細設計が完了するまでは、詳細な影響範囲、及び移植先が決まらない

1. 施設設計が完了した段階で移植方法、移植先を検討

※設計次第では移植が不要となる種もある

2. 道路用地が確定した時点で<u>移植を実施</u>

1

3. 植物の移植後に道路工事に着手

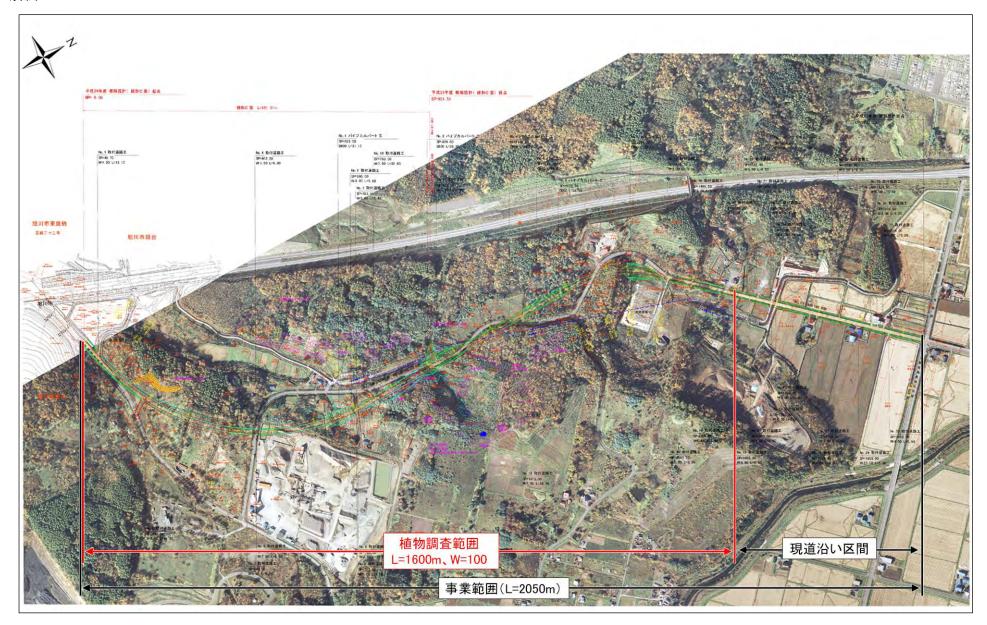


図 空中写真(鷹栖東鷹栖比布線 事業地周辺)